

- 3) 基礎コース：中学・高専低学年の基礎からやり直し、基礎学力をつけたい者
- 4. 対象者：本校学生
- 5. 担当者：本校6名の英語教員
- 6. 受講状況

- 1) 年度末の急な募集にもかかわらず、78名の学生が受講した。その内訳は、Aコースに8名、Bコースに48名、基礎コースに22名であった。
- 2) 本校でも学生の英語力の弱さを指摘されており、すぐにはその効果は現れてこないと思われるが、今後も長期休業中にこのような講座の開設を継続していく予定である。

(5) 学生対象の教養講演会

1) 「南極での通年観測・自然そして地球」

日 時 平成15年10月17日(金) 14時10分～15時40分
 場 所 新居浜高専 視聴覚教室
 講 師 国立極地研究所教授 神山孝吉(第43次日本南極地域観測隊・越冬隊長)
 対 象 本科1年生対象。1年生約200名が聴講。

2) 「NHKデジタル塾 in 新居浜高専」

日 時 平成16年1月19日(月)
 12時30分～17時 ハイビジョン衛星放送デモ
 15時30分～17時 講演「中谷日出のデジタル生活論」
 場 所 新居浜高専 視聴覚教室
 講 師 NHK解説員 中谷日出
 対 象 本科4,5年生、専攻科生対象

3.1.4 専攻科学生の成果発表状況

専攻科では、学生が特別研究で行った研究成果を、在学中に1回は専門分野の学会などで発表することを義務付け、積極的に挑戦するよう強く推奨している。また、論文にまとめて学会誌や紀要などに発表することを勧めている。図3.1.1に専攻科1期生からの発表件数の推移を示す。学会等発表件数は平成13年度以降30件程度で推移しているが、論文発表件数はこの2年間10件以下と以前に比べて少なく、論文発表の活性化を図る必要がある。

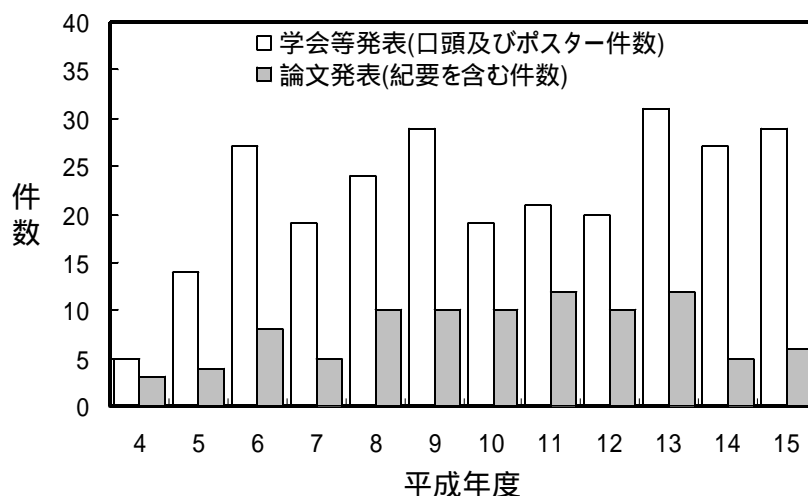


図3.1.1 専攻科生の発表件数の推移